



2017年3月期(平成29年3月期)

決算説明会

2017年5月22日



東証一部上場

証券コード:7408

技術のジャムコは、 士魂の気概をもって

- 一、夢の実現にむけて挑戦しつづけます。
- 一、お客様の喜びと社員の幸せを求めています。
- 一、自然との共生をはかり、豊かな社会づくりに貢献します。

- この資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来に関する見通しであり、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度に関するさまざまなリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績はこれらの見通しとは異なる結果があり得ることをご承知おきください。
- この資料における数値について、記載金額は、表示桁未満を切捨てしており、増減率(%)は、表示桁未満を四捨五入して作成、表示しております。
- 本資料を(株)ジャムコの許可無く転載・複写することを禁じます。又、本資料を使用することにより生じたいかなる損害について(株)ジャムコは一切責任を負いません。



Contents

SECTION 1

2017年3月期 決算の状況

- 04 | グループ連結P/L (前期比)
- 05 | セグメント別売上高 (前期比)
- 06 | セグメント別経常利益 (前期比)
- 07 | グループ連結P/L (見直し計画比)
- 08 | セグメント別売上高 (見直し計画比)
- 09 | グループ連結B/S
- 10 | グループ連結 設備投資額/減価償却費/試験研究費
- 11 | グループ各社の状況

中期3ヶ年計画

SECTION 2

- 13 | 経営環境と市場動向
- 14 | 新中期経営計画のポイント
- 15 | 各セグメント 今後の課題と対応
- 16 | グループ連結 売上高/経常利益
- 17 | 航空機内装品セグメント 売上高/経常利益(計画)
- 18 | 航空機シートセグメント 売上高/経常利益(計画)
- 19 | 航空機器製造セグメント 売上高/経常利益(計画)
- 20 | 航空機整備セグメント 売上高/経常利益(計画)
- 21 | 経営指標の推移
- 22 | グループ連結 設備投資額/減価償却費/試験研究費

2017年3月期 決算の状況

- 04 | グループ連結P/L (前期比)
- 05 | セグメント別売上高 (前期比)
- 06 | セグメント別経常利益 (前期比)
- 07 | グループ連結P/L (見直し計画比)
- 08 | セグメント別売上高 (見直し計画比)
- 09 | グループ連結B/S
- 10 | グループ連結 設備投資額／減価償却費／試験研究費
- 11 | グループ各社の状況

SECTION

1

グループ連結P/L(前期比)



【単位:百万円】

	FY16 (実績)	FY15 (実績)	増減	増減率
売上高	81,834	91,561	△ 9,726	△ 11%
営業利益	2,132	8,793	△ 6,661	△ 76%
経常利益	1,285	8,245	△ 6,959	△ 84%
税引前利益	1,261	8,230	△ 6,968	△ 85%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,014	5,169	△ 4,155	△ 80%
1株当たり当期純利益 (円)	37.82	192.72	—	—
売上為替レート (円/USドル)	109.06	120.22	—	—

セグメント別売上高(前期比)

【単位:百万円】

	FY16 (実績)	FY15 (実績)	増減	増減率
売上高	81,834	91,561	△ 9,726	△ 11%
航空機内装品及び航空機シート合算値	67,867	77,023	△ 9,155	△ 12%
航空機内装品	55,311	—	—	—
航空機シート	12,556	—	—	—
航空機器製造	6,349	6,366	△ 17	△ 0%
航空機整備	7,617	8,170	△ 553	△ 7%

(注) FY15(実績)の航空機内装品及び航空機シートの金額は算定していないので「—」と表示しています。

Point

- 円高による外貨建て売上高の減少
- シートの販売は前期に対して増加
- 内装品は777X開発の端境期によるギャレーの減少、スペアパーツ販売の減少
- 機器製造はエンジン部品の増加、エアバスA380型機向け炭素繊維構造部材の減少
- 整備は好調に推移した前期に対して完成工事が減少

セグメント別経常利益(前期比)

【単位:百万円】

	FY16 (実績)	FY15 (実績)	増減	増減率
売上総利益	11,002	18,916	△ 7,914	△ 42%
販管費	8,870	10,123	△ 1,252	△ 12%
営業外損益	△ 846	△ 547	△ 298	—
経常利益	1,285	8,245	△ 6,959	△ 84%
航空機内装品及び航空機シート合算値	1,129	7,866	△ 6,736	△ 86%
航空機内装品	4,676	—	—	—
航空機シート	△ 3,547	—	—	—
航空機器製造	96	215	△ 118	△ 55%
航空機整備	64	166	△ 102	△ 62%
その他	△ 4	△ 2	△ 2	—

(注1) FY15(実績)の航空機内装品及び航空機シートの金額は算定していないので「—」と表示しています。

(注2) 「その他」はオレンジジャムコ、ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでおります。

Point

■ 販管費

- 保証工事費の減少、試験研究費の減少

■ 営業外損益

- 為替差損
- 支払補償費用

■ 経常利益

- 円高による売上高の目減りの影響
- 内装品はギャレー、スペアパーツ販売減少による減益
- シートはコスト削減の遅れとプログラムの一部キャンセル等による損失
- 機器製造はエアバスA350型機向け炭素繊維構造部材の初期段階のコスト増により減益
- 整備は売上高の減少に伴い減益

1 グループ連結P/L(見直し計画比)

【単位:百万円】

	FY16 (実績)	FY16 (見直し計画)	増減	増減率
売上高	81,834	83,400	△ 1,565	△ 2%
営業利益	2,132	1,800	332	18%
経常利益	1,285	500	785	157%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,014	300	714	238%
1株当たり当期純利益 (円)	37.82	11.18	—	—
売上為替レート (円/USドル)	109.06	105.00	—	—

(注) 見直し計画とは、第2四半期決算説明会で公表した通期想定為替レート105円/USドルに変更した業績予想値です。

セグメント別売上高(見直し計画比)

【単位:百万円】

	FY16 (実績)	FY16 (見直し計画)	増減	増減率
売上高	81,834	83,400	△ 1,565	△ 2%
航空機内装品	55,311	55,700	△ 388	△ 1%
航空機シート	12,556	13,300	△ 743	△ 6%
航空機器製造	6,349	6,400	△ 50	△ 1%
航空機整備	7,617	8,100	△ 482	△ 6%

(注) 見直し計画とは、第2四半期決算説明会で公表した通期想定為替レート 105 円/US ドルに変更した業績予想値です。

Point

- 円安による外貨建て売上高の上積み
- 内装品はギャレーの出荷が翌期へずれ込んだ影響などで減少
- シートは出荷が翌期へずれ込んだ影響で減少
- 機器製造はほぼ計画通り推移
- 整備は完成工事の減少

グループ連結B/S

【単位:百万円】

科目	FY16末 2017年3月31日現在	FY15末 2016年3月31日現在	増減
〈資産の部〉			
流動資産			
現金及び預金	2,277	3,479	△ 1,201
受取手形及び売掛金	23,158	20,232	2,925
棚卸資産	41,360	42,209	△ 848
その他流動資産	5,952	6,710	△ 757
流動資産合計	72,748	72,631	117
固定資産			
有形固定資産	14,356	14,496	△ 140
無形固定資産	1,562	1,213	348
投資その他の資産	3,892	3,942	△ 49
固定資産合計	19,811	19,652	158
資産合計	92,559	92,284	275

科目	FY16末 2017年3月31日現在	FY15末 2016年3月31日現在	増減
〈負債の部〉			
流動負債			
支払手形及び買掛金	15,979	15,216	763
短期借入金	23,441	22,374	1,067
その他流動負債	12,824	14,152	△ 1,328
流動負債合計	52,245	51,742	502
固定負債			
長期借入金	4,700	5,100	△ 400
その他固定負債	7,610	7,239	371
固定負債合計	12,310	12,339	△ 28
負債合計	64,556	64,082	474
〈純資産の部〉			
純資産合計	28,003	28,202	△ 198
負債純資産合計	92,559	92,284	275

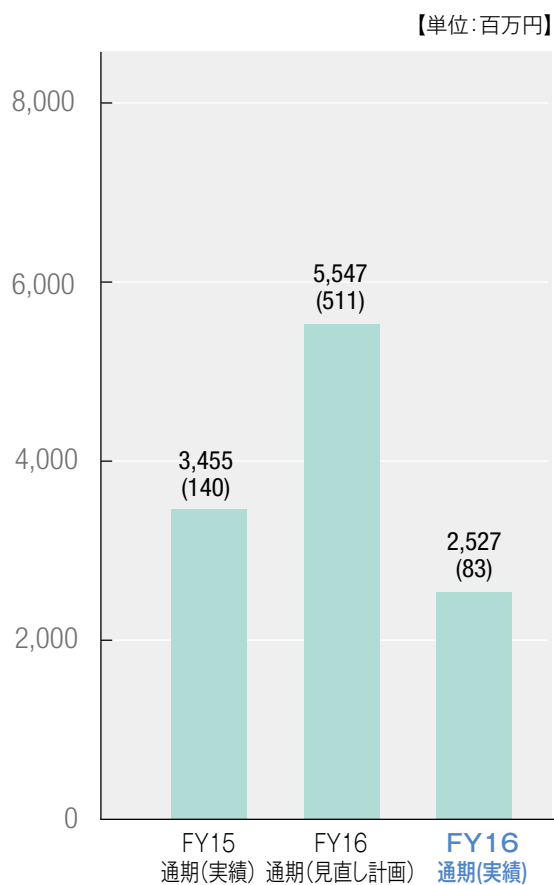
Point

- FY16期末の売上高増加により、受取手形および売掛金が増加
- その他流動負債において前受金が減少し、工事損失引当金が増加
- 自己資本比率 29.7%→29.4% (0.3ポイント低下)

グループ連結 設備投資額/減価償却費/試験研究費

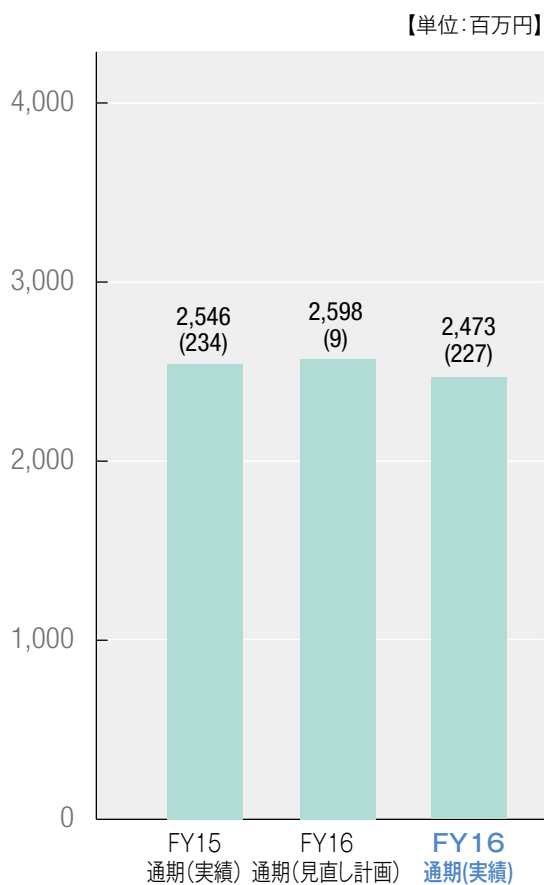


設備投資額(連結)



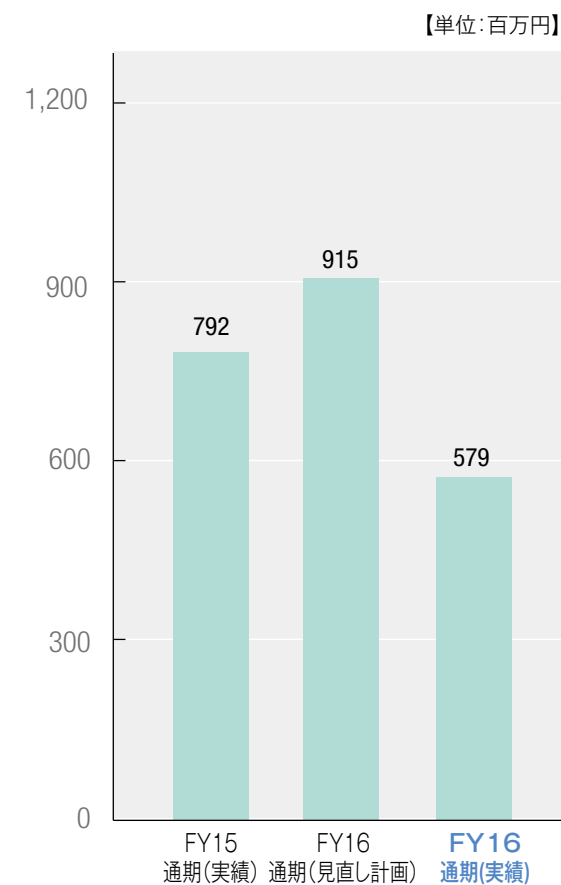
※設備投資には()内の全リース物件を含む。

減価償却費(連結)



※()内はリース資産分。

試験研究費(連結)



(注) 見直し計画とは、第2四半期決算説明会で公表した通期想定為替レート105円/USドルに変更した業績予想値です。

グループ各社の状況

【単位:百万円】

	当社	新潟 ジャムコ	宮崎 ジャムコ	中条 ジャムコ	ジャムコ アメリカ	ジャムコ エアロデザイン エンジニアリング	ジャムコ シンガポール	ジャムコ フィリピン	ジャムコ エアロ マニユファク チャリング	徳島 ジャムコ	ジャムコ エアロテック	オレンジ ジャムコ	シンガポール ジャムコ サービス
売上高	68,271	3,574	2,680	776	26,083	1,097	4,528	619	1,198	710	387	90	3,402
営業利益	2,231	90	△ 10	70	△ 533 (△ 729)	129	242	55	27	20	8	1	207
経常利益	1,673	103	8	84	△ 672 (△ 856)	138	226	47	46	20	8	1	207
当期純利益	1,285	77	5	56	△ 415 (△ 532)	114	204	35	30	13	4	1	187

(注1)シンガポールジャムコサービスは持分法適用関連会社です。

(注2)ジャムコアメリカは787関連開発費の償却について当社と同じ基準で会計処理しています。括弧内の数値は「米国基準」における数値です。

中期3ヶ年計画

- 13 | 経営環境と市場動向
- 14 | 新中期経営計画のポイント
- 15 | 各セグメント 今後の課題と対応
- 16 | グループ連結 売上高／経常利益
- 17 | 航空機内装品セグメント 売上高/経常利益
- 18 | 航空機シートセグメント 売上高/経常利益
- 19 | 航空機器製造セグメント 売上高/経常利益
- 20 | 航空機整備セグメント 売上高/経常利益
- 21 | 経営指標の推移
- 22 | グループ連結 設備投資額／減価償却費／試験研究費

SECTION 2

- 中国や新興諸国の経済成長が減速するなど先行き不安を抱えながらも、米国の景気動向は底堅く、日本及びユーロ圏でも緩やかな景気回復が続き、世界経済全体は概ね堅調に推移。一方、地政学的リスクの高まりにより、為替相場が急激に変動する可能性があるなど、金融市場においては先行きが不透明。
- エアライン各社は原油安と旅客需要の増加が収益改善に寄与しているが、依然として競争の激化は続いている。
- 航空機メーカーは小型機を中心に受注・生産は引き続き好調。
- ボーイング787やエアバスA350など中型機の生産についても、安定的に高水準を維持。一方、大型機については新興諸国からの受注落ち込みにより中期的には減産が見込まれる。
- 航空機メーカーにとって機体販売価格の低減が重要な課題となっており、サプライヤーに対する価格要求が厳しさを増している。

中期ビジョン

- **航空機分野に特化し、内装品事業を基軸に、機器製造、航空機整備の機能を併せ持つオンリーワンの航空機総合企業を目指す**

中期経営指標

- **収益性指標：連結経常利益率 7%以上**
- **効率性指標：連結ROA 7%以上**
- **配当方針：連結配当性向20~30%を目安とする**

航空機内装品

- ① 生産技術の革新を加速し、生産性の飛躍的な向上を図り、コスト競争力を一段と強化
- ② サプライチェーンを強化し、品質・コスト・リードタイムをより一層改善
- ③ 革新的な技術と製品により競争力を強化し、顧客との協力関係を更に確固たるものにして、世界シェアNO.1を確保

航空機シート

- ① 設計、開発、調達、生産すべてにおけるコストダウンを加速
- ② 魅力的な製品開発により受注・販売を促進
- ③ グループサプライチェーンの最適化を図り、生産効率を向上

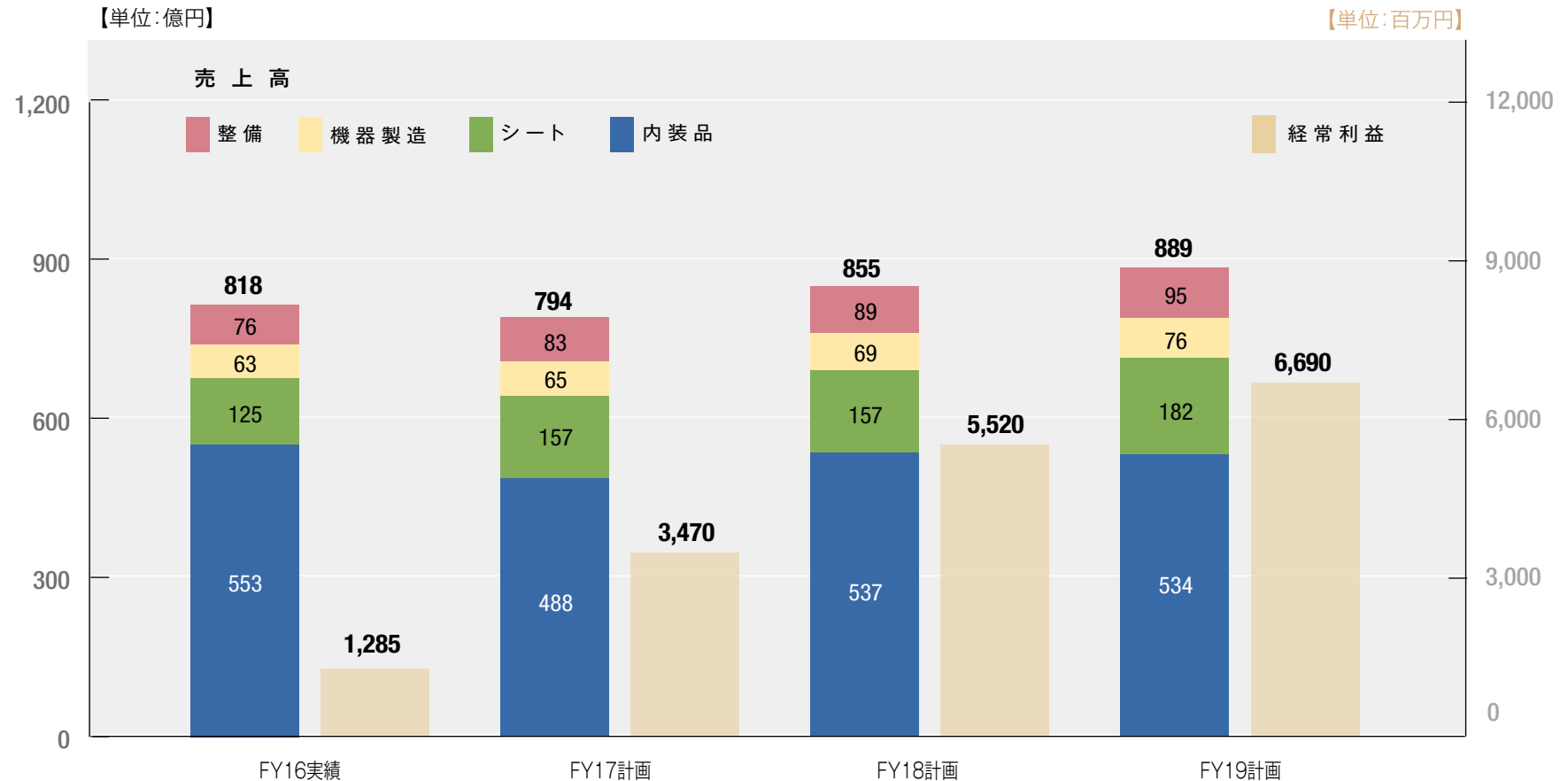
航空機器製造

- ① 関連企業を含め品質及び生産効率を追求し収益性を向上
- ② 国内外の新たな顧客開拓を促進し、受注を拡大
- ③ 新たな開発プロジェクトへの参画等を通じて新製品を受注
- ④ 炭素繊維成型などの製造技術を内装品やシートに応用

航空機整備

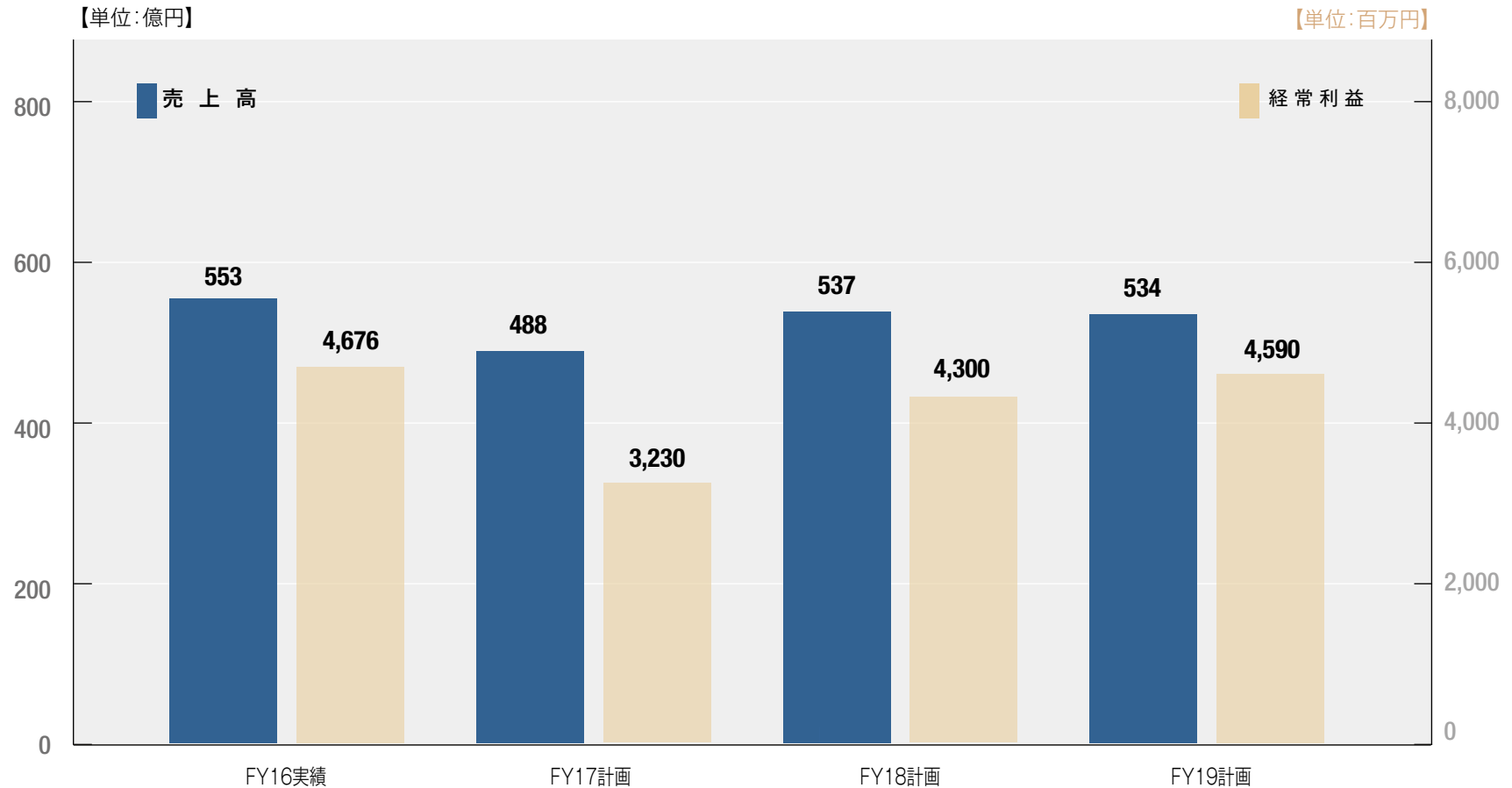
- ① 飛行安全の確保と品質保証体制のたゆまぬ強化
- ② 付加価値の高い新たなビジネスへの取組みを強化
- ③ 海外市場への展開や海外メーカーとの協業を強化
- ④ MRO Japan株式会社(沖縄に展開予定の航空機整備改造業者)参画への準備を推進

グループ連結 売上高/経常利益



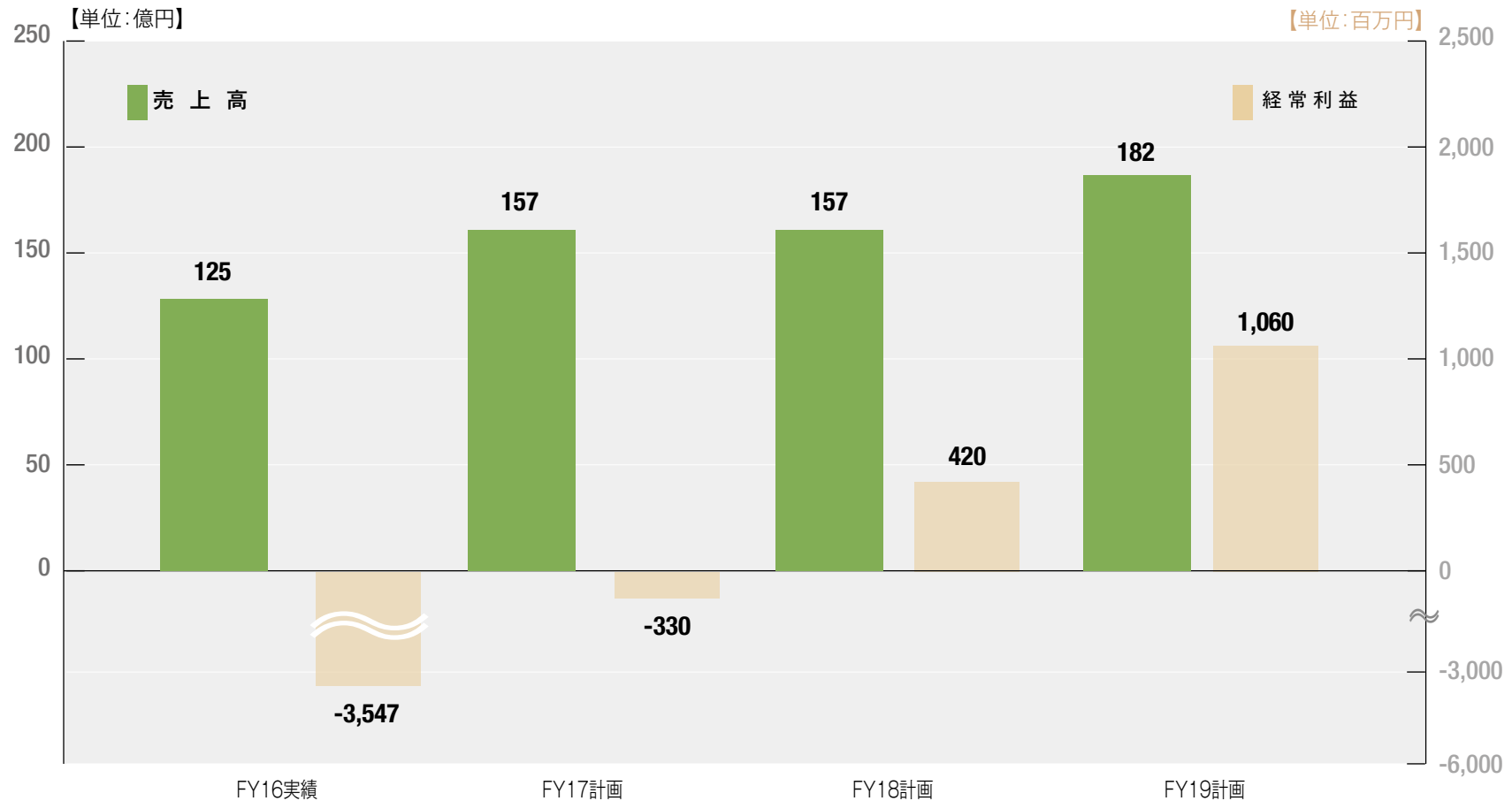
(注) 中期計画の為替レート FY17~19 110円/USドル

航空機内装品セグメント 売上高/経常利益



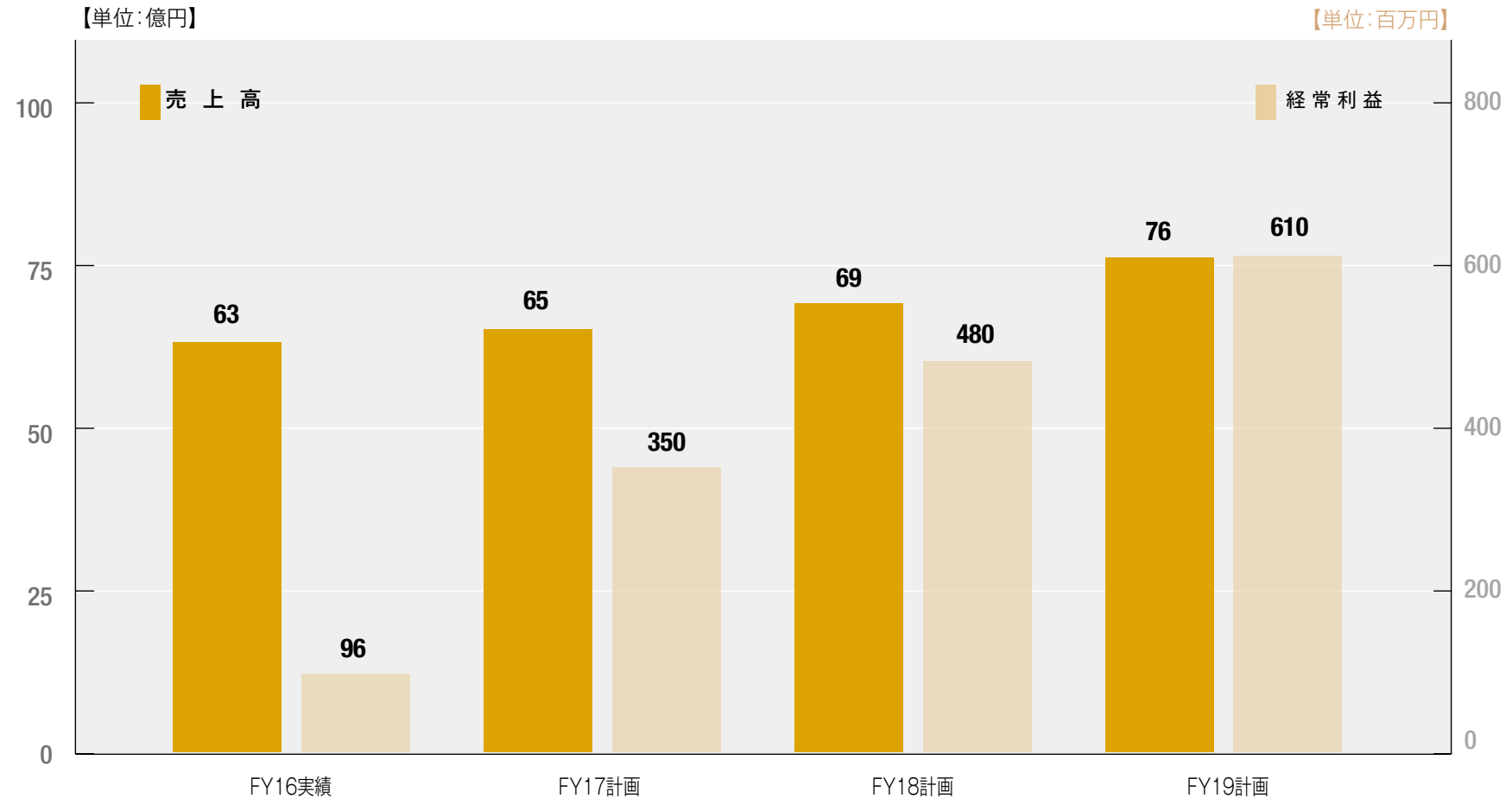
(注) 中期計画の為替レート FY17~19 110円/USドル

航空機シートセグメント 売上高/経常利益



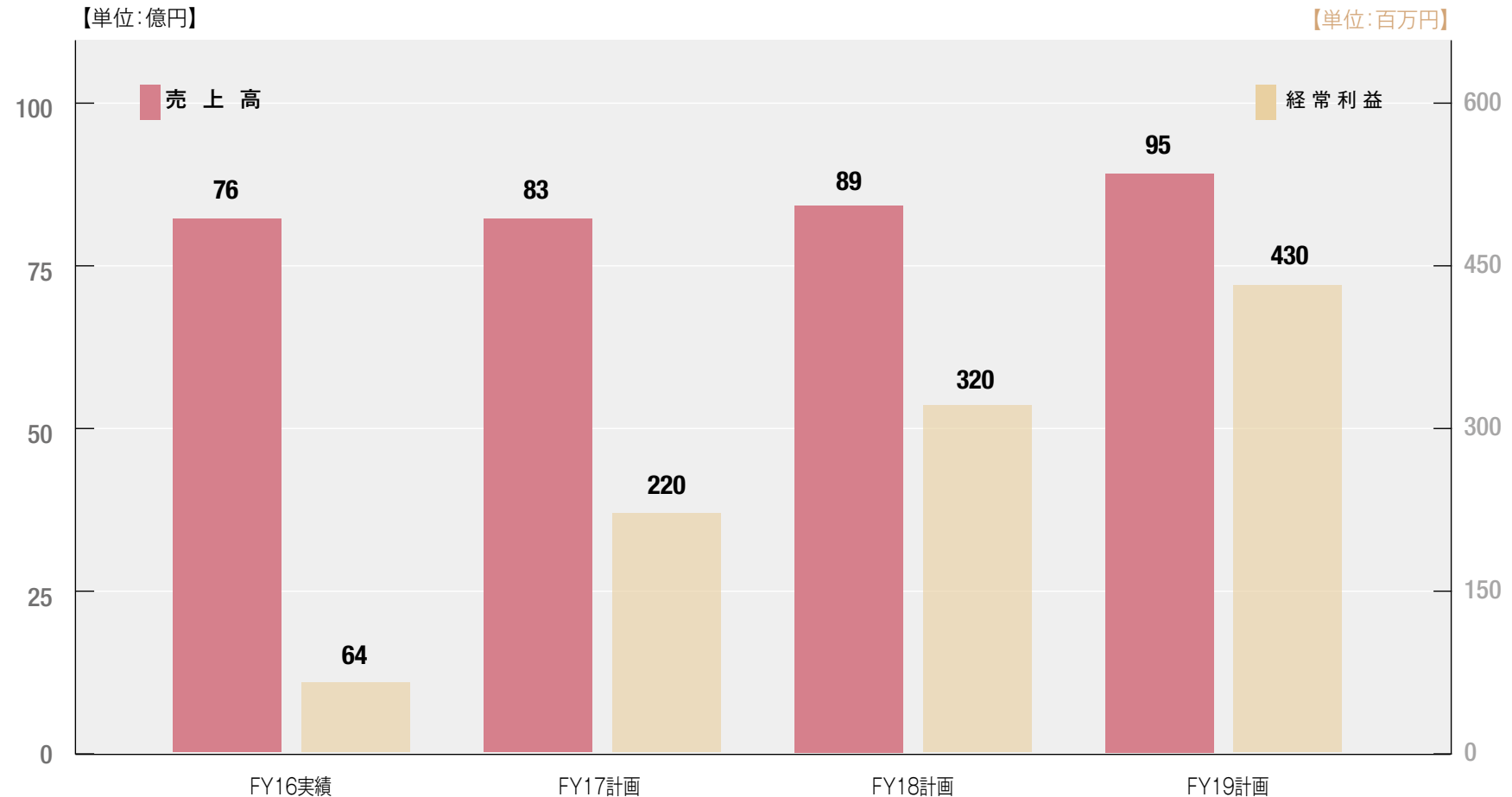
(注) 中期計画の為替レート FY17~19 110円/USドル

航空機器製造セグメント 売上高/経常利益



(注) 中期計画の為替レート FY17~19 110円/USドル

航空機整備セグメント 売上高/経常利益



(注) 中期計画の為替レート FY17~19 110円/USドル

経営指標の推移

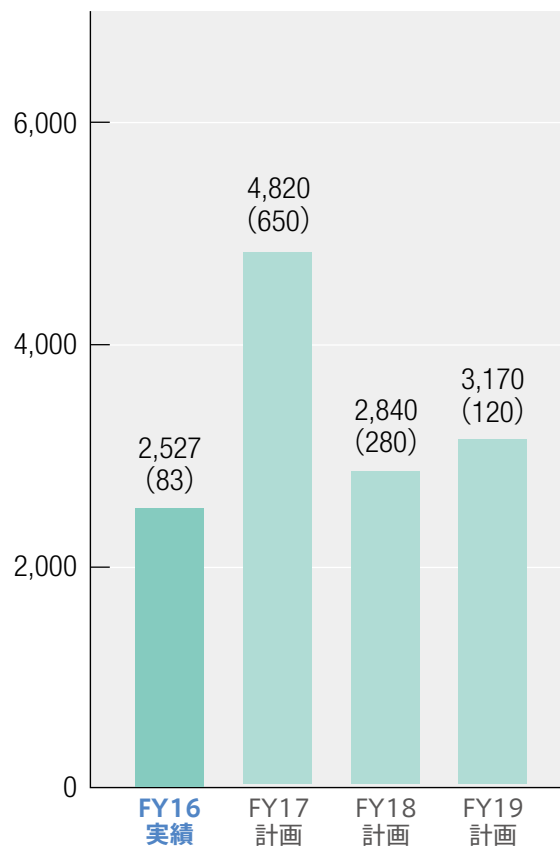
	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17 (計画)	FY18 (計画)	FY19 (計画)
連結経常利益率	7.0%	10.2%	9.0%	1.6%	4.4%	6.5%	7.5%
ROA (総資産経常利益率)	6.7%	9.8%	9.2%	1.4%	3.8%	6.1%	7.1%
ROE (株主資本当期純利益率)	15.0%	22.6%	20.2%	3.7%	8.2%	12.6%	13.6%
自己資本比率	27.0%	27.0%	29.7%	29.4%	32.5%	34.6%	37.9%
1株当たり配当額	¥15	¥35	¥40	¥10	¥20	—	—
配当性向	14.8%	19.6%	20.8%	26.4%	23.5%	—	—
株価 (期末日)	¥1,925	¥3,665	¥2,816	¥2,475	—	—	—

グループ連結 設備投資額/減価償却費/試験研究費



設備投資額(連結)

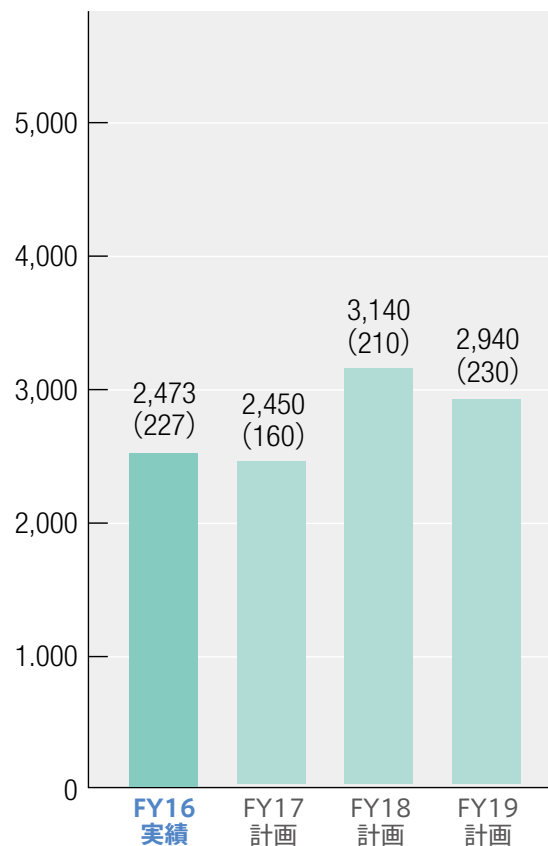
【単位:百万円】



※設備投資には()内の全リース物件を含む。

減価償却費(連結)

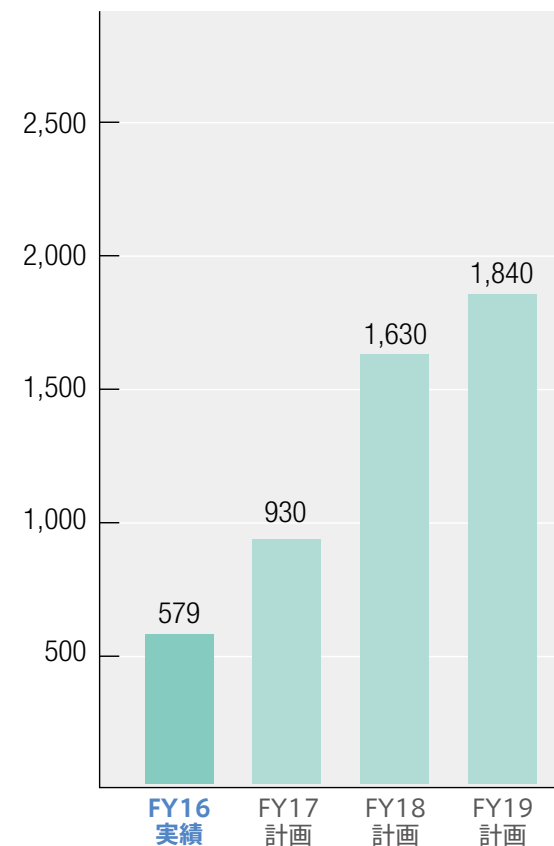
【単位:百万円】



※()内はリース資産分。

試験研究費(連結)

【単位:百万円】



2017年3月期 決算説明会 添付資料

- 24 | 企業グループ概要
- 25 | 事業概要①/航空機内装品製造事業
- 26 | 事業概要②/航空機シート製造事業
- 27 | 事業概要③/航空機器製造事業
- 28 | 事業概要④/航空機整備事業
- 29 | 事業概要⑤/国内関連会社
- 30 | 事業概要⑥/海外関連会社
- 31 | 航空機メーカーの受注残
- 32 | 新型旅客機の開発・生産状況
- 33 | ボーイング・エアバスの受注・納入状況
- 34 | ボーイングの受注・納入状況
- 35 | エアバスの受注・納入状況
- 36 | 世界の航空旅客予測
- 37 | ジェット機の運航機材構成予測

SECTION 3

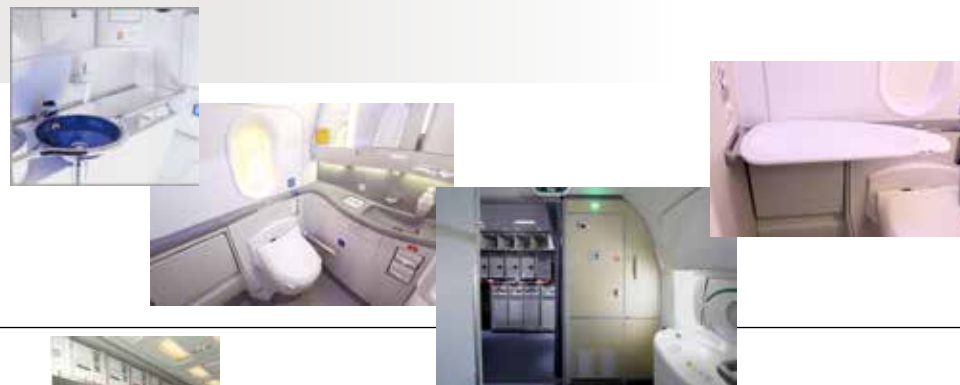
企業グループ概要



航空機内装品製造事業

航空機用ラバトリー（化粧室）の製造

- ボーイング747-8・767・777・777X・787向け
ラバトリーを独占供給



航空機用ギャレー（厨房設備）の製造

- ボーイング747-8・777・787・767・737に搭載
- エアバスA380・A330・A340・A320に搭載
- 世界の航空会社約100社へ納入
- 787向けギャレーを独占供給
- A350向けICE (Increased Cabin Efficiency) リアギャレーを供給



航空機改修事業

- 客室内装備品の新規搭載、配置換え、及びキャビンクルーの
休憩室搭載等に関する、設計、プロジェクトの管理、取付用部品の製造と認証取得
- アメリカ連邦航空局 (FAA) よりODA認定を取得 (ジャムコアアメリカ)
FAAに代わって航空機客室改造の追加型式証明の発行が可能
- 欧州航空安全庁 (EASA) より設計認証 (DOA) を取得 (ジャムコエアロデザイン & エンジニアリング)



航空機シート製造事業

航空機用シートの製造

- ボーイング787ドリームライナーファミリー向け
プレミアムクラスシート
スタンダードシート (商品名Journey-B, Venture)
- エアバス向けA350 ACS (Airbus Contracted Supplier) シート
スタンダードシート (商品名Journey™ ビジネスクラスシート)
- シンガポール航空向けファースト、ビジネスクラスシート
ボーイング777-300ER用ファースト、ビジネスクラスシート
エアバスA350用ビジネスクラスシート



航空機用シートコンソールの製造

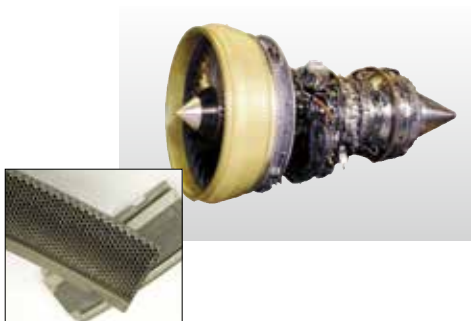
- プレミアムクラス シートコンソール
シンガポール航空エアバスA380用スイートクラス・シートコンソール
全日空ボーイング777-300ER用ファーストクラス・シートコンソール



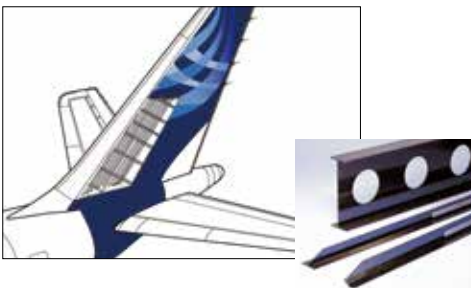
航空機器製造事業



航空機用熱交換器及び
各種航空機搭載機器の製造



ジェットエンジン部品の製造



航空機用炭素繊維構造部材の製造

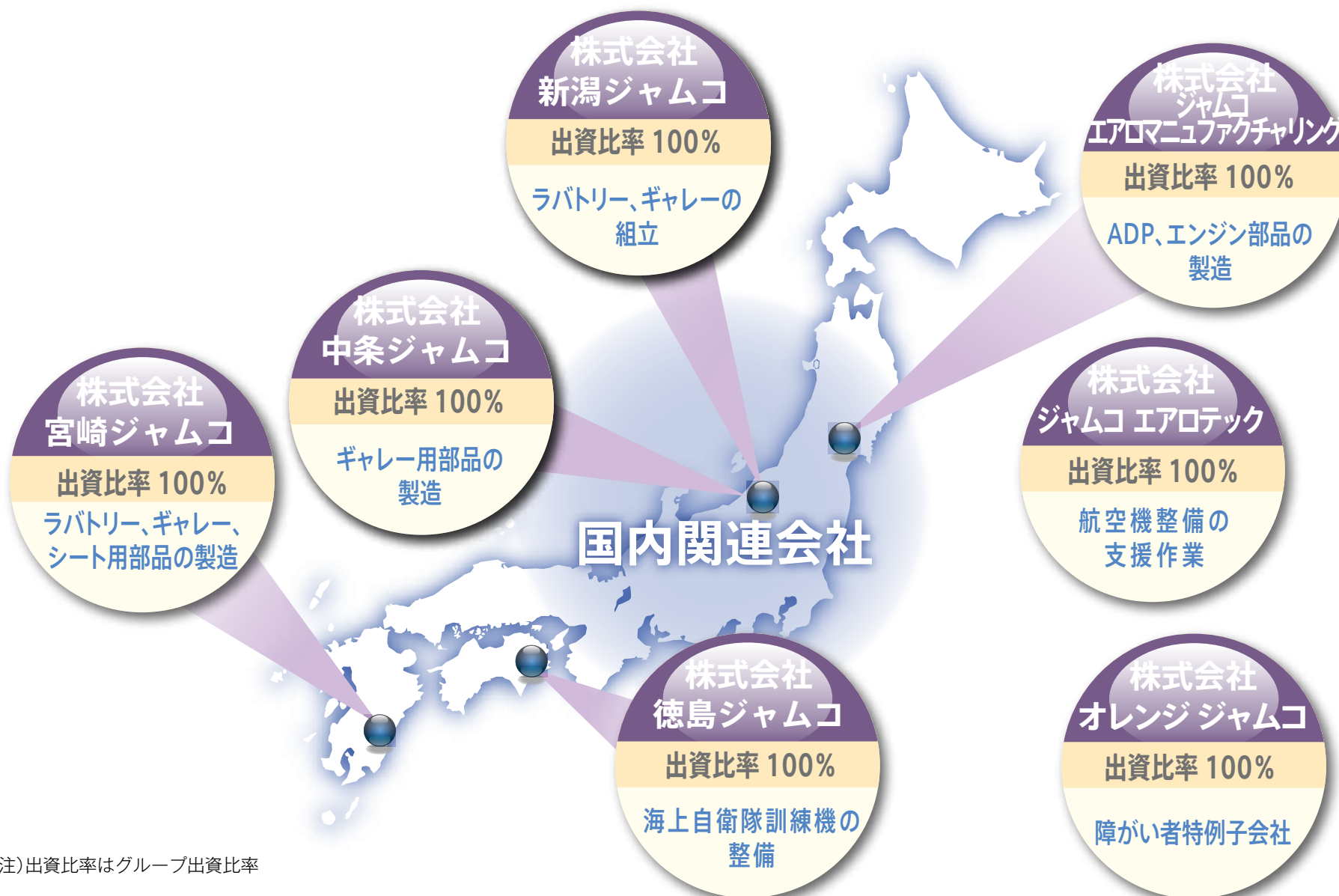
- エアバスA380用2階床構造部材 (ADP)
- エアバスA350を除くエアバス機の垂直尾翼構造部材 (ADP)
- エアバスA350貨物室床下構造材

航空機整備事業



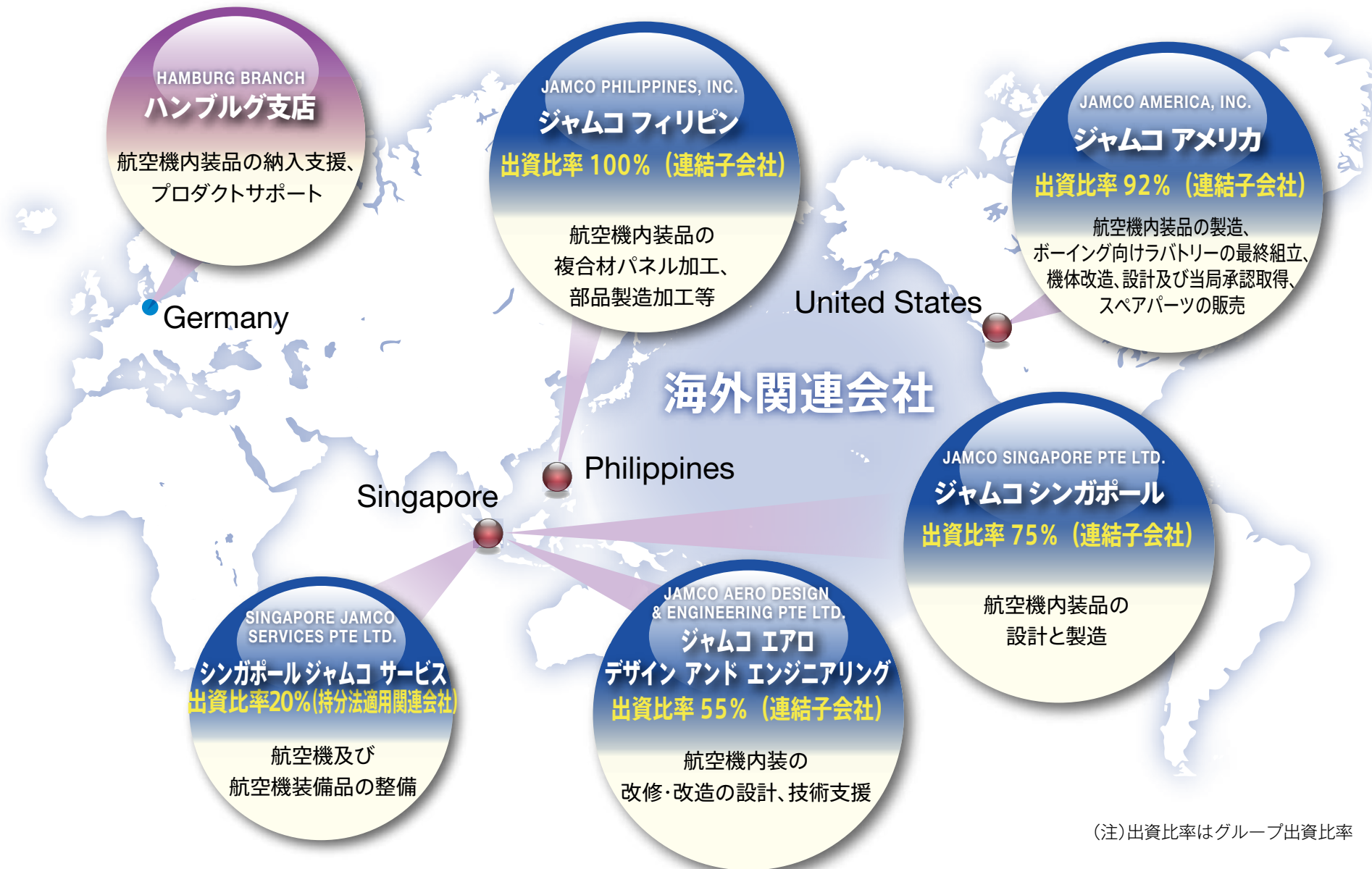
防衛省、海上保安庁、国土交通省航空局、 航空大学校、エアラインなどの航空機、 装備品整備事業

- 中型・小型航空機及びヘリコプターの整備・改造
- リージョナル機の整備
- プロペラ、脚、航空電子機器の整備
- 車輪、ブレーキ、救難用ホイス（吊り上げ装置）のオーバーホール
- 大型旅客機客室内装備品の整備
- エバキュエーション（緊急脱出）スライドの整備



(注)出資比率はグループ出資比率

事業概要 ⑥



(注)出資比率はグループ出資比率

航空機メーカーの受注残

ボーイング社の受注残機数

狭胴機

4,452 機 (前年 4,363機)

広胴機

1,263 機 (前年 1,357機)

エアバス社の受注残機数

狭胴機

5,645 機 (前年 5,479機)

広胴機

1,229 機 (前年 1,237機)

(注)2016年12月末時点

出所：ボーイング社 HP、エアバス社 HP

新型旅客機の開発・生産状況

■ 787の生産状況

- 2016年12月末日現在、500機の引き渡しを完了
- 2016年12月末日現在、受注残機数は700機

■ 777Xの開発状況

- 2020年に初号機引き渡し予定
- 2016年12月末日現在、受注残機数は306機

■ 737MAXの開発状況

- 2017年に初号機引き渡し予定
- 2016年12月末日現在、受注残機数は3,606機

■ A380の生産状況

- 2016年12月末日現在、207機の引き渡しを完了
- 2016年12月末日現在、受注残機数は112機

■ A350XWBの生産状況

- 2016年12月末日現在、64機の引き渡しを完了
- 2016年12月末日現在、受注残機数は754機

■ A330neoの開発状況

- 2018年1月-3月に初号機引き渡し予定
- 2016年12月末日現在、受注残機数は214機

■ A320neoの生産状況

- 2016年12月末日現在、68機の引き渡しを完了
- 2016年12月末日現在、受注残機数は5,001機

(注)受注データについてはボーイング社、エアバス社HPより

ボーイング・エアバスの受注・納入状況

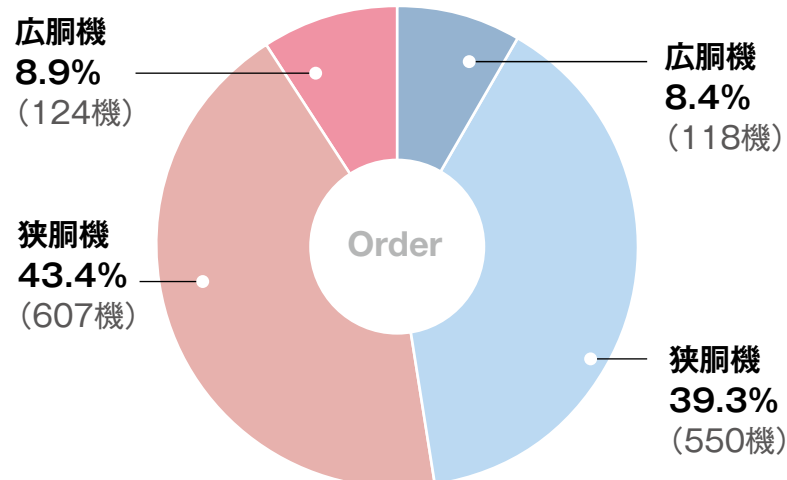
(2016年1月～12月累計)

受注状況

●エアバス社

52.3%
(731機)

●ボーイング社

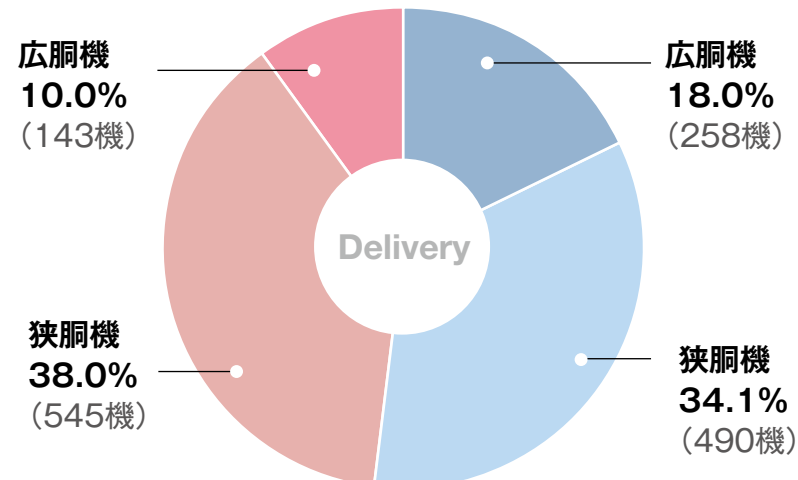
47.7%
(668機)

納入状況

●エアバス社

47.9%
(688機)

●ボーイング社

52.1%
(748機)

出所：ボーイング社 HP、エアバス社 HP

ボーイングの受注・納入状況

(2016年1月～12月累計)

	受 注	納 入	受 注 残
ボーイング合計	668	748	5,715
747	17	9	28
777/777X	17	99	442
787	58	137	700
767	26	13	93
737	550	490	4,452

(注) 色の機種は広胴機（ワイドボディー機）を示す。

出所：ボーイング社 HP

(注)ボーイング777/777Xの受注残には777Xの受注残306機を含む。

エアバスの受注・納入状況

(2016年1月～12月累計)

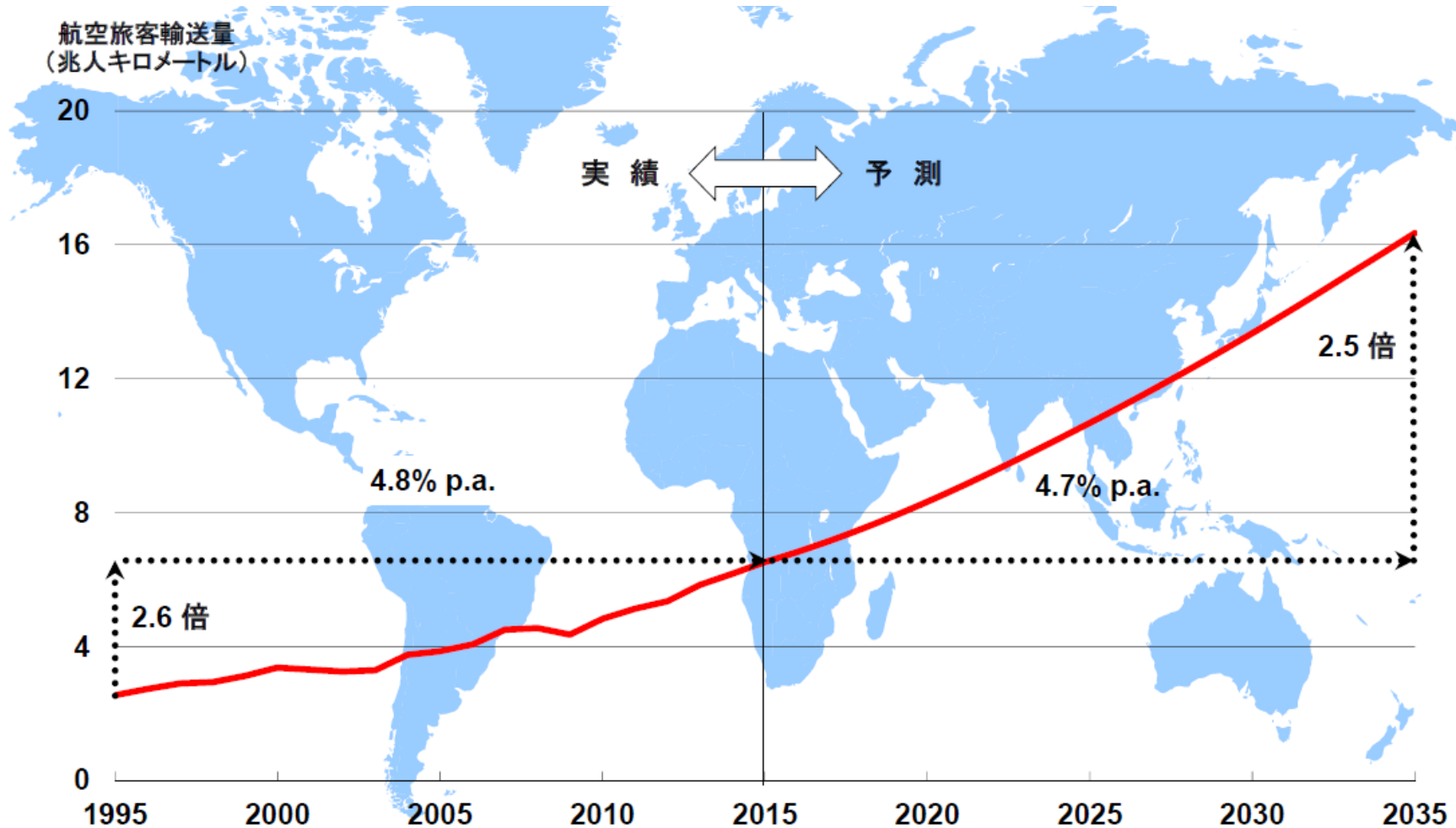
	受 注	納 入	受 注 残
エアバス合計	731	688	6,874
A380	0	28	112
A350	41	49	754
A330/A340	83	66	363
A320 ファミリー	607	545	5,645

(注) ■色の機種は広胴機（ワイドボディー機）を示す。

出所：エアバス社 HP

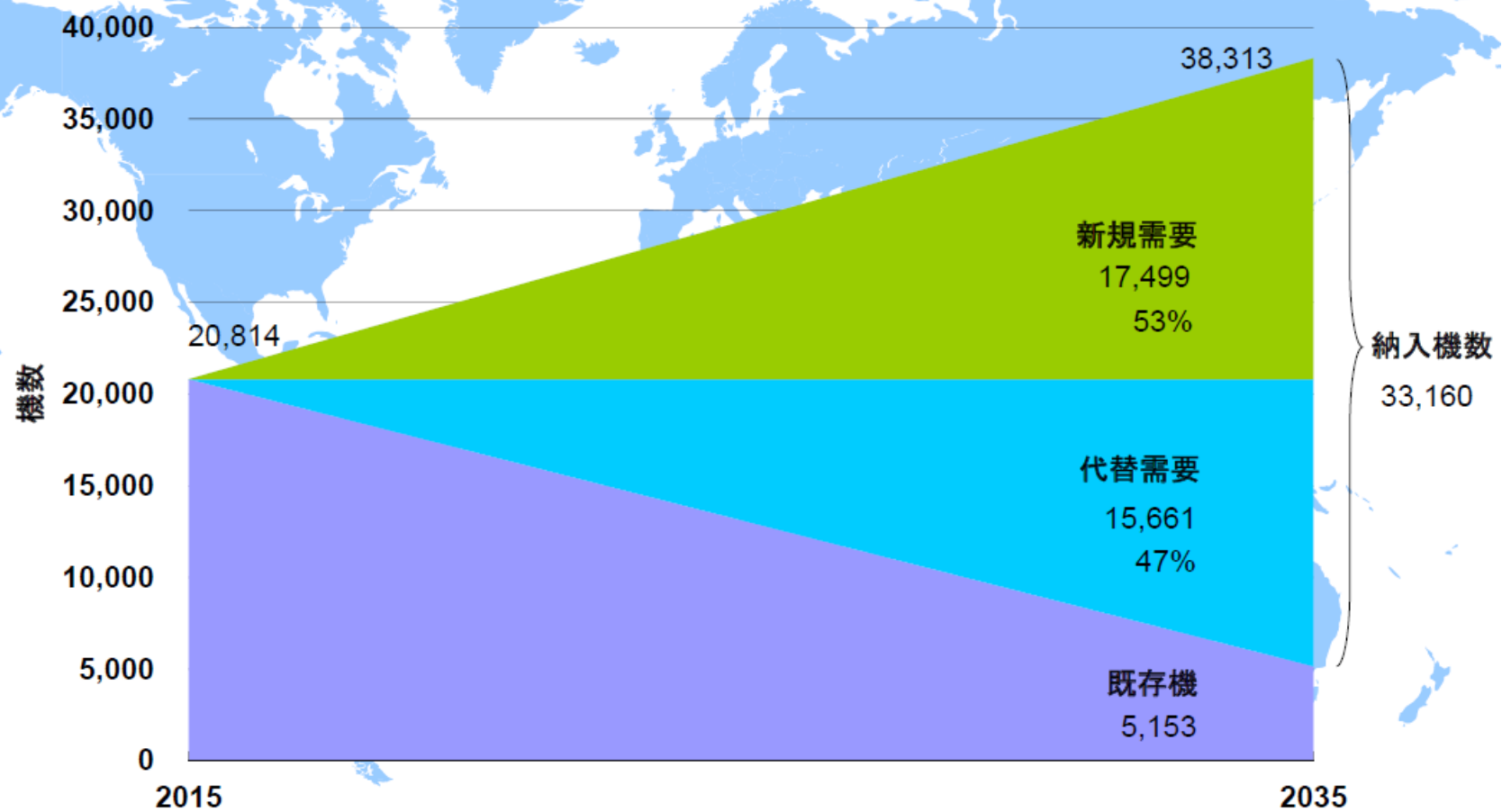
世界の航空旅客予測

2016–2035年の20年間の航空旅客輸送量の成長率は年平均4.7%と予測



ジェット機の運航機材構成予測

今後20年間の世界の需要は33,160機、その内新規需要は17,499機



技術を翼に世界の空へ

 **Jamco**
ALWAYS FLY TOGETHER



Always Fly Together